

## (7) 有害赤潮広域共同調査

### 予算

水産庁委託：平成 27 年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業のうち赤潮・貧酸素水塊対策推進事業（瀬戸内海等での有害赤潮発生機構解明と予察・被害防止等技術開発）

### 結果の概要

1. 魚介類の斃死原因となる有害赤潮等分布拡大防止のための発生モニタリングと発生シナリオの構築（夏季調査）

瀬戸内海東部海域において、魚類の斃死原因となる有害プランクトンの広域モニタリングを行うとともに、その情報を関係者に迅速に伝達し、被害の未然防止に努める。夏季調査においては、関係機関の地先海域ごとに *Chattonella* 属赤潮の発生と気象・海象との関係について判別分析による解析を実施した。

2. ノリ色落ち原因珪藻の発生モニタリング、発生機構解明、予察技術開発（冬季調査）

瀬戸内海東部海域において、ノリ色落ちの原因となる珪藻類の発生モニタリングを行うとともに、その情報を関係者に迅速に伝達し、色落ち被害の軽減に努める。冬季調査においては、珪藻プランクトンの分布と気象条件・海洋環境との関係を検証するために、昨年度までに整備したシミュレーションモデルによる流動場を利用して、播磨灘北部を起点とする粒子追跡実験を行った。

### 担当者

秋山 諭、山本圭吾、横松宏幸、田中咲絵